



安保法案(戦争法案)撤回に向け、何らかの行動の考えは

町 白紙にせよ、との考えはない

問 安保法案は町民の命にかかわる。自衛隊をアメリカの戦争に加担させ、憲法に違反する。民意を無視する強行採決は許されぬ。撤回、あるいは慎重審議を求める何らかのアクションを起こす考えは。

町長 改正案では前提が自国防衛、それに世界への貢

問 献をうたっている。決して他国防衛のためには自衛隊を派遣しない。集団的自衛権発動の懸念があるとされるが、3原則、国連決議、国会決議、自衛隊員の安全確保があるとしており、この意味で今回の改正案は、かなりよくできた法案である。新聞のアンケートでは、

首長のほとんどが「審議不十分だ」と言っており、国は「もっと十分な議論をつくすべきだ」という考えは持っているが、法案を白紙撤回せよという考えは今のところ持っていない。

デマンド交通で黒磯駅乗り入れなどの改善を

町 運行の話し合いを進める

問 デマンド交通の利用実績は今年3月時点で、1カ月456人、一日平均で15.2人。本格運行に向け改善を進めなければ利用者は増えない。黒磯駅乗り入れをはじめ、運行経路や予約制度の改善、料金、目的側停留所を増やす問題など町民要求などへの取り組みは。

企画財政課長 デマンドの本格運行は、町民の要望を受け、関係機関、事業者との調整を図るために実施時期を半年延期する。デマンド交通の第一の目標は公共交通の空白地帯を埋めるということにある。本格運行に向け、今後広谷地区の運行拡大、黒磯駅までの運行の検討などをすすめる。

黒磯駅乗り入れについては民間事業者との連携が必要であり、検討を進めて行く。



8月23日栃木県弁護士会主催の集会



デマンド交通